

各位

令和3年7月12日

岩手大学農学部共同獣医学科  
准教授または助教選考委員会  
委員長 佐藤 洋

共同獣医学科 准教授又は助教候補者（女性限定）の公募について

謹啓

盛夏の候、時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、岩手大学農学部共同獣医学科では准教授又は助教候補者を下記により公募することになりました。つきましては、貴機関に適切な候補者がおられましたなら、応募くださるよう周知方ご高配を賜りたくお願い申し上げます。なお、貴機関以外の方でも適任と思われる方がいらっしゃいましたら、ご推挙いただければ幸甚に存じます。

謹白

記

1. 公募する教員の職名及び人数

共同獣医学科 薬理毒性学 准教授又は助教（テニユア・トラック）  
1名（女性）

2. 分野の概要及び職務の内容

本学共同獣医学科の教育分野は、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、小動物臨床獣医学及び大動物臨床獣医学の5分野からなりますが、今回の公募は、基礎獣医学及び応用獣医学分野の薬理学並びに毒性学を担当する准教授又は助教を充足するためのものです。なお、助教の場合は、本学テニユア・トラック制度が適応されます。

主たる担当科目は薬理学実習、毒性学実習、獣医学概論（分担）、獣医倫理学（分担）ならびに共通教育科目と学部専門基礎科目の一部です。なお、東京農工大学農学部共同獣医学科の基盤薬理学、毒性学及び臨床薬理学に関連する講義について、同分野の他研究室と連携して担当します。

3. 応募資格

- 1) 女性に限る（男女雇用機会均等法第8条に該当。岩手大学における女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した採用を行うものです。）。
- 2) 人格・識見に優れ、学部学生及び大学院生の教育・研究指導に熱意を有する方。
- 3) 博士の学位を有し、薬理学及び毒性学に関する広範な知識と優れた研究能力を備えている方。

- 4) 学部及び学科の運営に積極的に参加できる方。
- 5) 岩手大学が実施する地域貢献に意欲のある方。
- 6) 日本国の獣医師免許を有する方が望ましい。

岩手大学は男女共同参画を推進しています。両住まい手当制度や子育て・介護中の研究者に対する支援策等についてはこちら (<http://www.iwate-u.ac.jp/gender/>) をご覧ください。また、女性研究者の採用・定着促進のためのスタートアップ経費の支援を最大3年間受けることができます。このほか、助教での採用であれば、テニュアトラックスタートアップ経費2年間の支援がうけられます。

助教の場合は、本学のテニュア・トラック制度により任期を5年間とし、採用3年目に中間審査、5年目にテニュア付与審査を行い、優れた業績を上げた場合には任期無しの雇用形態であるテニュアに移行します。

#### 4. 提出書類

- 1) 履歴書 1部 (写真貼付、署名、捺印のあるもの。Eメールアドレスも記載してください)
- 2) 研究業績目録 1部 (様式は別紙または岩手大学ホームページを参照ください)
- 3) 主要論文別刷 5編以内
- 4) 教育研究に対する抱負1部 (1,000字程度)
- 5) 推薦者がある場合は推薦状、あるいは人物照会が可能な方の連絡先 (様式自由)

#### 5. 面接

選考過程において応募者の来訪を求め、面接などを実施することがあります。その際の旅費等の経費は自己負担になります。

#### 6. 提出期限

令和3年9月30日 (木曜日) 必着

#### 7. 採用予定日

令和4年2月1日

#### 8. 提出先 (問い合わせ先)

〒020-8550

岩手県盛岡市上田三丁目 18-8

岩手大学農学部共同獣医学科

准教授又は助教選考委員会

委員長 佐藤 洋

Tel&Fax: 019-621-6213

e-mail: [satohsss@iwate-u.ac.jp](mailto:satohsss@iwate-u.ac.jp)

教員応募書類在中と朱書きし、簡易書留又は配達記録の残る方法でお送りください。なお、応募書類は原則として返却いたしません。

以上

「研究業績」の作成について（2020.9）

農学部教員人事委員会

研究業績は、A4判の用紙に A.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著論文 (a)学術雑誌\*<sup>1</sup>、(b)紀要\*<sup>2</sup>、(c)プロシーディングス、E. その他\*<sup>3</sup>、F. 報告書・事業報告書等\*<sup>4</sup>、G. 特許・設計等、H.国際学会発表\*<sup>5</sup>、I. 国内学会発表\*<sup>5</sup>の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り返してください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度（日本語の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

\*1：学会誌，国際誌等を年代順に記載する。

\*2：試験場報告，研究所報告等を含む。

\*3：商業雑誌，資料等を記載する。

\*4：調査報告書，科学研究費報告書，事業報告書等を記載する。

\*5：最近5カ年について記載する。（教授選考の場合，I. 国内学会発表は不要）

\*6：著書名にアンダーラインを付ける。なお，単著，筆頭著者及びコレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションである場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし論文にその記載がある場合に限る。

\*7：英文で著者名を記載する場合は，下記のようにする。

1. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

\*8：学名にはアンダーラインをつけるか，またはイタリックで記載する。

\*9：論文番号は全角，英数字は半角にする。また，巻数はボールド（太字）とする。

\*10：Journal は略記する。

\*11：発行又は発表予定として記載可能なのは in press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)

農学について. ○○出版社, 東京, 100p.

2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)

北上山地における畜産業, 「岩手の農業」(大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp.10-20.

3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)  
トウモロコシ, 「アメリカの農業」 (A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp.20-30.
4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)  
Agricultural in Japan, “Agricultural Sciences” (Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press, London, pp.20-30.

#### B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)  
XYZに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]
2. 岩手一郎 (1983)  
ABCに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

#### C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)  
岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No.3 : 1-5.
2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)  
岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

#### D. 原著論文

##### (a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)  
岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.
2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)  
Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J.Anim. Sci. 20 : 100-105.
3. Iwate, I. (1990)  
Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix japonica*). Jpn. Avian Physiol. 25 : 15-20.

##### (b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)  
トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 17 : 30-40.

##### (c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)

Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc.  
5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)

北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125 : pp.35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告 (△△県) , pp.10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

2. 岩手一郎 (2000)

◇◇◇ 特願 2000-123456 特開 2002-123456

H. 国際学会発表 (最近5か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)

Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I. 国内学会発表 (最近5か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)

岩手の野生動物. 第100回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.